

新年明けましておめでとうございます。年の初めにあたりまして一言
ごあいさつ申し上げます。また、日頃から町政に対する深いご理解とご
支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、2017年は本町にとって大きな意味を持つ
年となりました。7月の九州北部豪雨は本町の隣接、近接の朝倉市、東
峰村に未曾有の被害をもたらしました。筑前町も朝倉地域の自治体とし
て、住民の皆様と心を一つにして、できうる限りの支援をしているとこ
ろでございます。朝倉地域の日も早い復興に向けて人的支援を現在も
続けているところであります。本町でもいつ起きてもおかしくない災害
であり、被災地を支援しながらも職員ともども学ばなければならないと
思いを強くするところです。そういった状況の中で昨年の筑前町のまち
づくりについて特徴的なものを振り返りますと、3月には多目的運動公
園が全面開園しました。子どもから大人まで楽しめる筑前町の新たな拠
点ができ、週末には多くの人で賑わっています。4月には大刀洗平和記
念館の新館がオープンし、今まで受け入れできなかった多人数の修学旅
行生を受け入れることができるようになりました。また、全国的に問題
となっている待機児童問題に対応すべく、西部地区にあさひ保育園が開
園できました。国の地方創生加速化交付金を活用したみなみの里キッ
ンカー「まんま号」も完成し、筑前町のPRにも一役買っています。8月

には今まで取り組んできた企業誘致について、ヤクルト本社へ用地の引き渡しが完了しました。今後の雇用や観光への期待が高まります。

さて、昨年まで準備を行い、現在取り掛かっているものをご紹介しますと、長年の課題であった国道 386 号線篠隈のやすらぎ荘入口交差点改良と三輪中学校入口の歩道整備によりやく着手できそうです。また、県道久光西小田線と町道久光・上高場線の接続についても着手しております。完成までにはまだまだ時間はかかりますが道路環境向上の為、一步一步着実に進めていきたいと考えております。次に、学びの環境づくりとして、小中学校の学力向上対策の為に課外活動の充実を図ってまいります。また、国際化の進展と観光事業促進の為、国の道の駅指定に努力します。このように、先人が営々と築きあげられた今の筑前町をさらに磨きをかけて後世に引き継ぐ為に、皆様とともに「なせば成る」を合言葉に、「住んでよかった」、「訪ねてよかった」、「帰ってきたい」、そのような思いを持たれるよう、まちづくりを進めていきたいと考えております。結びに本年が皆様方にとって明るく希望に満ちた一年であることを、また、実り多き年となることをご祈念申し上げまして新年のごあいさつとさせていただきます。